

一 般 (個 人) 質 問 通 告 一 覧 表

令和3年第1回笠岡市議会定例会

3月10日・11日(2日間)

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 坂本 亮平	1 市民の安心安全について	<p>新年度予算の提案説明では、地域防災の推進として道路・河川・漁港・港湾施設の防災対策に重点を置き、備蓄品整備や啓発を進めるとあったが、地域防災への予算は前年対比30%減として計上されている。</p> <p>平成23年3月11日東日本大震災から10年が経過し、また平成30年7月の西日本豪雨災害も記憶に新しく、いまだ復旧作業が続いている。加えて本年2月13日にも大規模な余震が東北地方を襲っている。</p> <p>こうした状況の中、今後30年には80%といわれる南海トラフ地震の危険性が指摘される中、市民の安心安全な生活を確保するためにも、笠岡市の危機管理について再確認をさせていただきたい。また、市民意識の醸成も特に必要と考える。</p> <p>(1) 市長の提案説明では財政調整基金の減は過去の災害が原因であるとの説明があったが、現基金残高で同程度の災害があった場合に市政運営が維持できるのかを尋ねる。</p> <p>(2) 災害時に開設される、災害対策本部の組織体制及び情報収集を含む運営状況を尋ねる。</p> <p>(3) マイタイムラインの活用や刷新されたハザードマップの有効活用について、笠岡市の予定を尋ねる。</p> <p>(4) 有事の際に、コロナ禍を踏まえ仮設住宅建築など市民が安心して避難できるエリア構想を尋ねる。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

		(5) 自助・共助は災害時の要となる、自主防災組織への防災教育や、防災士を通しての連携など、今後のビジョンを尋ねる。	関係部長
2 栗尾 典子	1 市民への情報提供の在り方について	<p>笠岡市が発信する情報を市民に対してどのように提供するのか。</p> <p>現在、広報紙、ホームページ、SNS、笠岡放送が主な手段だと認識しているが、これでは多くの情報弱者を生んでいる。</p> <p>特に、今後予定されている高齢者のコロナワクチン接種など、スピードと徹底周知を必要とするものはどのように対応するのか。また、市民の意見を聞くためにも双方向性をもった情報網の構築が必須であると考えているが、整っているかを問う。</p> <p>(1) 確実な情報伝達を行うために、どのような方法を使っているのか。</p> <p>(2) 行政協力委員は、きちんと機能しているのか。</p>	市長
	2 集落支援員について	<p>現在、笠岡市はへき地指定されている島しょ部において、6名の集落支援員を配置していると聞いている。</p> <p>(1) 集落支援員とは何か。</p> <p>(2) 笠岡市は何のために集落支援員を置いているのか。</p>	市長
	3 空き家対策について	<p>笠岡市では、空き家や空き地、耕作放棄地が増加しているが、これまでのやり方では対応しきれない問題が増えてきているように見受けられる。今回は、特に中心市街地の今後の対策について尋ねる。</p> <p>(1) 現在、笠岡市はどのような対策をとっているのか。</p> <p>(2) 現在抱えている問題は何か。</p> <p>(3) 今後の空き家対策についての施策の方向性について</p>	市長

<p>3 大月 隆司</p>	<p>1 監査業務について</p>	<p>坂本代表監査委員の任期が、今年度で満了となる。任期中の総括と今後の監査等についての基本的な考え方を尋ねる。</p>	<p>代表監査委員</p>
	<p>2 多文化共生の取組について</p>	<p>(1) 市内企業の技能実習生等の受け入れに伴い、外国人人口が増加している。また、今後の観光施策でも役立つ「やさしい日本語」の取組ができないか尋ねる。</p> <p>※ 「やさしい日本語」とは、普通の日本語より簡単で、外国人や子供、高齢者、障害者の方にとっても、わかりやすい日本語のことである。</p> <p>※ 例えば、「土足厳禁」→「靴を脱いでください」と表記すること。この取組は、1995年に発生した阪神淡路大震災で、日本語も英語も十分理解できず、必要な情報を受け取ることができない人が多くいたため、災害発生時に適切な行動がとれるようにと考えだされたのが、「やさしい日本語」の始まりで、今では災害時だけでなく、外国人への情報発信の手段として研究され、全国に広がってきている。また、東京オリンピックに向けた多言語対応協議会でも議論されている。</p> <p>(2) 外国人対応についての窓口について、どこが責任をもって行うのか尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>
	<p>3 ヘルプマークとサポートハートマークについて</p>	<p>笠岡市では、ヘルプマーク及びヘルプカードを、平成29年8月から申請者に対して、窓口で無料配布している。</p> <p>以下について尋ねる。</p> <p>(1) ヘルプマーク及びヘルプカードの配布状況について</p> <p>(2) 啓発の取組について</p> <p>(3) サポートハートマークの導入について</p> <p>※ サポートハートマークとは、「困っている</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

	<p>4 女性活躍の推進について</p>	<p>人を助けたい」という方が身に着けることで、障害や病気を抱える方といった支援を必要としている人(当事者)が、マークを身につけている人に「手伝ってください」と声をかけやすくして、当事者が安心して過ごせるようにするためのマークで、ヘルプマークの逆バージョンと考えると分かりやすい。</p> <p>(1) 笠岡市特定事業主行動計画(平成28年度～平成32年度)が最終年度となっている。取組の成果と今後の課題について、計画の更新を含め尋ねる。</p> <p>(2) ジェンダーハラスメント等に係る啓発について尋ねる。</p> <p>(ア) 職員に対して</p> <p>(イ) 学校教育での取扱い</p> <p>(ウ) 一般市民への啓発</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長 市長</p>
<p>4 山本 聡</p>	<p>1 笠岡湾干拓地の有効活用について</p>	<p>市民意識調査によると、スマート農業たる大規模な野菜プラント等の稼働により、長年の懸案だった笠岡湾干拓地の利活用の推進、満足度が上がってきている。</p> <p>この機に、未利用土地のさらなる活用を図る等により、農業を中心とした一大テーマパークとしての飛躍が期待される。</p> <p>笠岡湾干拓地を活用したグリーンツーリズム、SDGs、脱炭素社会構築に向けてのチャレンジなど取り組むことによる経済効果は大きいのではないかと。</p> <p>(1) 水と緑のふれあい広場を再整備し、道の駅との連携による、賑わいの創出を図るプランはないか。</p> <p>(2) 新笠岡港緑地(堤防)の案内板によると、緑地公園として整備する計画だが、今後の計画(予定)はどうなっているか。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>

	<p>2 耕作放棄地の解消に向けて</p>	<p>(3) 干拓地内の防風林として、既植栽に代わるイメージアップが図れる植樹の計画はないか。</p> <p>(4) 農道空港周辺は平地と堤が広がっているが、グランピング等による利用が可能ではないか。</p> <p>(ア) サイクリスト，長距離トラック運転者など活用できる仮眠施設，シャワールームなどを設置してはどうか。</p> <p>(イ) キャンピングカープール，キャンプ場等のワンストップ施設の整備は可能か。</p> <p>(5) 既存施設，あるいは小広場等にて牛を利用したアニマルセラピーを導入してはどうか。</p> <p>岡山県下でも耕作放棄地の面積の多い笠岡周辺では，景観を損ない鳥獣被害を誘発するなど2次的な悪影響を及ぼしています。農業後継者がいないなど，担い手不足の背景には付加価値を生みにくい，生産性の向上が望めない。その上，重労働を強いられている側面がある。</p> <p>定年後の生きがいの創出や，コミュニケーションの場として耕作放棄地を活用することによるメリットの発信が求められている。</p> <p>令和2年6月に農林水産省内閣官房から国会に提出された令和2年度食料・農業・農村の動向と併せて，特集の2に“輝きを増す女性農業”と題し，女性の農業者が農業や地域の振興に重要な役割を果たしている，とレポートしている。</p> <p>就農理由には，「農業が好きだから」，「家族と一緒に仕事ができるから」，「子供を育てるには環境が良いから」，「食べ物の品質や安全性に興味があるから」など，多様な価値観で農業を捉えている。</p> <p>女性を含む多様な人材が活躍できる土壌を作</p>	<p>関係部長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p>
--	-----------------------	---	--

		<p>り、収益向上やイノベーションにつなげていくために</p> <p>(1) 女性の農業経営への参画を促す施策が可能か。</p> <p>(2) 作物のブランド化を女性の手で進められないか。</p> <p>※ 狭隘な土地が多い耕作放棄地の再生に自然栽培(肥料も薬も使わない)など、不揃いでも付加価値の高い野菜を栽培することによるブランド化</p> <p>(3) 作業の機械化, アシストスーツなどによる緩和策及び子育て支援, コミュニティの提供など, 就農意欲が湧く施策が求められるが可能か。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
5 森岡 聡子	1 「都市計画マスタープラン」の見直しについて	<p>平成 27 年を基準年次として策定された「都市計画マスタープラン」であるが、これは「第 6 次総合計画(平成 22 年度～平成 30 年度)」を上位計画としたものである。現在、平成 30 年度からは、「第 7 次総合計画(平成 30 年度～令和 7 年度)」を上位計画として様々な施策が動く中で、「都市計画マスタープラン」の見直しを行うと仄聞している。</p> <p>「都市計画マスタープラン」の中で、“上位計画の改定や社会情勢の変化等により、必要に応じて見直しを行う”とあり、5 年前の策定では令和 17 年度を目標年次と設定しているが、将来のビジョン、指針など見直しの方向性について問う。</p> <p>(1) 見直しをすることになった経緯とその課題と考え方を尋ねる。</p> <p>(2) 昨年策定された「立地適正化計画」は「7 次総合計画」を上位計画としているが、人口ビジョン等も合わせた、「都市計画マスタープラン」との整合性について尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>

		<p>(3) 空き家、空き地の増加と市街地の空洞化等について今後の取組、問題点について尋ねる。</p> <p>(4) プラン実施のために、限られた財源をどのように効果的に活用しようとしているのかを尋ねる。</p> <p>自治体が発行する新型コロナウイルスのワクチン接種について、本市では公共施設で行う「集団接種」を予定していると公表されている。</p> <p>以下、市の考えを尋ねる。</p> <p>(1) 集団接種における問題点について</p> <p>(2) 在宅介護世帯、介護施設入所者、在宅認知症患者等の対応について</p> <p>(3) 正確でスピーディーな情報開示について</p> <p>(4) ワクチン接種における自治体職員(一般職)のスタッフとしての関わりについて</p> <p>(5) 個人情報の態勢づくりについて</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
6 大山 盛久	<p>1 笠岡市の財政状況について</p> <p>2 有害鳥獣対策について</p>	<p>小林市長就任後、貯金である財政調整基金が4年間で約10億円減少しています。問題は何に使ったかであります。</p> <p>そこで、次の2点についてお尋ねします。</p> <p>(1) 財政調整基金を使用した状況についてお尋ねします。</p> <p>(2) 笠岡市の未来をどのようにしたいかをお尋ねします。</p> <p>近年、有害鳥獣の捕獲数や侵入防止柵の設置は増加していますが、農作物被害額は高止まりの状態にあります。</p> <p>そこで、次の3点をお尋ねします。</p> <p>(1) 令和2年度の有害鳥獣捕獲状況についてお尋ねします。</p> <p>(2) 有害鳥獣被害対策の現状と課題についてお尋ねします。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p>

		(3) 令和3年度有害鳥獣対策事業補助金の取組についてお尋ねします。	関係部長
7 真鍋 陽子	1 新型コロナウイルス感染症による笠岡市内における市民生活への影響について	(1) 新型コロナウイルス感染症による笠岡市内への影響をどのように把握しているか、市民からの相談にはどのような内容があるのかを尋ねる。 (2) 今後、笠岡市として、中・長期的にどのように市民生活を支えていくのか。ビジョンを尋ねる。	関係部長 市長
	2 学校教育について	(1) 新年度から本格的に始まる、GIGAスクール構想における教員の研修体制を尋ねる。 (2) ディスレクシアとは何かを尋ねる。 (3) ディスレクシア、読み書き困難を伴う生徒にとって、1人1台、タブレットで学べる環境の中では様々な可能性が広がる。 笠岡市としてタブレットを使い、読み書きに困難を伴う生徒に対してどのように支援していくか、具体的なビジョンを尋ねる。 (4) 来年度、給食にオーガニック食材を扱う具体的な計画はあるのかを尋ねる。 (5) 小学校、中学校における不登校状態の生徒数を尋ねる。 (6) 教育相談室、エブリイハートが出席扱いになる基準とは何かを尋ねる。 (7) 笠岡市立図書館や笠岡市立竹喬美術館、笠岡市立カブトガニ博物館、笠岡市立郷土館など、既存の公的教育施設、あるいはそれに準ずる信頼性の担保された施設などに不登校の生徒が通うことで、出席扱いにできないかを尋ねる。	関係部長 " " " " 教育長
	3 笠岡市住宅マスタープランについて	(1) 平成31年度末時点で、439戸(ストック全体の約48%)が法で定められた構造別の耐用年数を超過しているとあるが、現在その	関係部長

	<p>4 移住・定住政策，関係人口政策について</p>	<p>建物内に何世帯お住まいなのか。また，その事実をお伝えしているのかを尋ねる。</p> <p>(2) 転出の抑制，転入の促進という定住促進の視点も描かれているが，子育て世帯に選ばれる住宅についてのビジョンが具体的にあるのかを尋ねる。</p> <p>(3) 高齢化が加速度的に進む笠岡市内において，セーフティーネットとしての公営住宅について，具体的なビジョンがあるのかを尋ねる。</p> <p>(1) 東京一極集中が緩和され，地方回帰への流れができつつある今，笠岡市として積極的にできる取組には何があると考えているのか。ビジョンを尋ねる。</p> <p>(2) 移住・多拠点生活用お試し住宅とは何か。また，利用数を尋ねる。</p> <p>(3) サテライトオフィス等開設サポート補助金とは何か。また，利用数を尋ねる。</p> <p>(4) 市内外の企業や自営業の方々が気軽に利用できるお試しショップを，駅前商店街内に開設できないかを尋ねる。</p> <p>(5) 本庁南1階トイレの改修をする予定はあるのかを尋ねる。</p> <p>(6) 保育所等における広域入所とは何かを尋ねる。</p> <p>(7) 笠岡市内においても積極的に広域入所を受け入れることはできるのかを尋ねる。</p> <p>(8) ふるさと納税商品としての観光パンフレットを兼ねたカタログギフトは，来年度，具体的に検討されているのかを尋ねる。</p> <p>(9) 100年に一度，50年に一度という規模の激甚災害が日本国内において毎年のように起こっており，その原因の1つは地球温暖化といわれている中，2020年7月末，岡山</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>市 長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市 長</p>
--	-----------------------------	---	--

		<p>県知事が 2050 年、CO2 ゼロ宣言自治体として宣言を行い、昨年 10 月 30 日には菅首相が脱炭素社会実現について言及したことで、岡山県においても来年度は脱炭素社会に向けての取組がますます加速していく。</p> <p>地方への移住・定住を考える方々には地球環境の変化に対する意識の高い方も多いが、笠岡市として今後、2050 年に向け、ゼロカーボンシティ宣言をする予定はあるのかを尋ねる。</p>	
--	--	--	--